



社会言語科学会ニューズレター

The Japanese Association of Sociolinguistic Sciences

第 5 号

2000年2月22日 発行：社会言語科学会事務局
〒214-8580 川崎市多摩区東三田 2-1-1 専修大学文学部永瀬研究室
URL <http://www01.u-page.so-net.ne.jp/ra2/jnagase/>

《巻頭言》

社会言語科学の研究の広がり

社会言語科学会・理事
尾崎 喜光

社会言語科学会が発足してから私は事務局委員のひとりとしておもに名簿管理の仕事に携わってきた。そうした細々とした仕事が好きで自分に向いているからである。当学会の前身である「社会言語学研究会」の時代から担当してきた。

御存知のように当学会の『会員名簿』には、会員一人ひとりの研究領域に関する欄が設けられている。このニューズレター一番上に掲げられている「九曜」の紋の形に象徴されるように、当学会は、これまで別々の領域で活動してきた者たちが「コミュニケーション」をキーワードに共に集り議論する場として生まれたのであったが、自分と異なる領域で誰がどんなことをやっているのか互いに知り合うことが学会内部のコミュニケーションとして重要だと考えたからである（と思う）。

以前私はこの情報を使い、会員の研究領域の広がりや分布状況を探ったことがある（『社会言語科学会ニューズレター』第1号[1998年6月10日発行]の「会員の研究領域の広がりや分布状況等」）。集中する研究領域はあるものの、全体としての広がりはかなりある。会員数が800人近くに増えた現在では、その広がりはずっと大きくなっていく。

さて、来年から独立行政法人として新たにスタートを切る研究機関に所属している者として、最近はよく「研究理念」的なことを考える。

私たちは言葉に何か「問題」があると思うからこそ研究をしているのであるが、その「問題」とはいったいどのような広がりを持っているのだろうか。そのようなことを最近よく考える。解決すべき問題を私なりにタイプ分けすると次のようになるのではないかと、現在のところ考えている。

- ①「不明」という言語問題
- ②「不通」という言語問題
- ③「不便」という言語問題
- ④「不快」という言語問題

詳述する余裕は無いが少しだけ説明を加えると、それぞれ次のような言語問題である。

①は、言語状況等に関する情報欠如に起因する言語の問題である。我々の使っている日本語がどうなっているのか分からない。そこが知りたいという問題である。いわゆる学術的な研究であり、現在の多くの研究はこれに入ろう。

②は、言語コードが共有されないことに起因する言語の問題である。相手の言うことが理解できない！なんとかしてくれ！、というタイプの問題である。多くの会員が携わる日本語教育も大きく言えばここに入ろう。

③は、適切な表現手段・標準的な表現手段の欠如に起因する言語の問題である。表現したいのに言葉がない！標準がない！不便だ！なんとかしてくれ！、というタイプの問題である。当学会には韓国や中国在住・出身の会員が少なくないが、会員の名

[6頁(表紙裏)へ続く]

第5回大会
プログラム…p.2~3
案内(手話通訳・キャンパス・交通・宿泊)…p.4

第6回大会
お知らせと研究発表の募集
…p.5

夏のワークショップ'99の報告
講習会：お詫びとお知らせ
…p.6

第5回社会言語科学会大会 プログラム

期日 2000年3月25日(土) ~ 26日(日)

場所 東京都立大学

〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1 0426-77-2137(荻野研究室)

※前号ニュースレターでお知らせした電話番号に誤りがありました。お詫びして訂正します。

社会言語科学会の第5回大会が開かれます。19件の<研究発表>、子どもの心と会話に関する<シンポジウム>、柴田武氏の<招待講演>など、充実したプログラムを準備しています。

会員の皆さんはもとより、まだ会員でないたくさんの皆さんのご参加をお待ちします。お声をかけ合って、ご参加ください。参加費は1,000円、予稿集代は1,500円です。

第1日 3月25日(土)

9:00 受付開始
10:00 開会

< 午前の部 : 大ホール >

〔研究発表1〕

司会: ダニエル・ロング(東京都立大学)

- | | | |
|-------------|--------------------------------------|-------------------------|
| 10:00-10:25 | 教育実習生のカテゴリーの組織化 | 森下雅子, 斎藤浩美(お茶の水女子大学大学院) |
| 10:25-10:50 | 正答を与える訂正方法が「仮説-検証のプロセス」に与える影響に関する一考察 | 齋藤伸子(東京国際大学 / 杏林大学大学院) |
| 10:50-11:15 | 「心の理論」から語用論を見直す | 竹林 暁(東京大学大学院) |
| 11:15-11:30 | 休憩 | |
| 11:30-11:55 | 幼児の依頼命令表現の発達 | 木畑典子(中京大学大学院) |
| 11:55-12:20 | 日本手話に於ける談話管理(1) | 西澤弘行(常磐大学) |
| 12:20-13:30 | 休憩(理事・監事は理事会) | |

< 午後の部 : 大ホール >

13:30-15:00 招待講演

【演題】 「大海に泳ぎ出した言語郎」

講演者 柴田 武(東京大学名誉教授)

〔研究発表2〕

司会: 杉戸清樹(国立国語研究所)

- | | | |
|-------------|--------------------------------------|--------------------|
| 15:15-15:40 | 相づちに関する意識に見られる中日の異同
—アンケート調査の結果から | 楊 晶(お茶の水女子大学大学院) |
| 15:40-16:05 | あいづちにあらわれる会話参加者の
心的距離について—日英語対照研究 | 但馬香里(日本女子大学大学院) |
| 16:05-16:20 | 休憩 | |
| 16:20-16:45 | 日本人と非日本人の含意解釈の異同 | 米沢久美子(お茶の水女子大学大学院) |
| 16:45-17:10 | 異文化間交流の文脈における
特殊用語の使用 | 吉川友子(大阪大学大学院) |
| 18:00-20:00 | 懇親会〔国際交流会館レストラン〕 | |

第 2 日 3 月 2 6 日 (日)

9:00 受付開始
10:00 開会

< 午前の部 : 大ホール >

10:00-13:00 シンポジウム

【テーマ】 発達する子どもの心と会話

コーディネーター：白井英俊 (中京大学)

司会：西澤弘行 (常磐大学)

話題提供者：仲真紀子 (東京都立大学) 会話における語彙獲得

秦野悦子 (川村学園女子大学) 会話における幼児の
語用論知識の発達

長崎 勤 (筑波大学) 障害児のコミュニケーション
発達とその語用論的指導

指定討論者：柏崎秀子 (東京工業大学) 第二言語習得の視点から

宮田 Susanne (愛知淑徳大学) 言語獲得の視点から

13:00-14:00 休憩

< 午後の部 > A会場 (大ホール) / B会場 (小ホール) で同時進行

〔研究発表 3 : A会場 (大ホール)〕

司会：日比谷潤子 (慶應義塾大学)

14:00-14:25 盂蘭盆の会話における分散と収斂 永山友子 (筑波大学大学院)

— 多人数間のコミュニケーションは、
いかにしてなされているか

14:25-14:50 意味交渉における母語話者の調整の効果性 徳永あかね (お茶の水女子大学大学院)

14:50-15:15 主語における格助詞の序列性 香西壮一 (ハワイ大学大学院)

— 他動性からの考察

15:15-15:30 休憩

15:30-15:55 複数形接尾辞「たち」と「ら」の使い分け 鄭 惠先 (大阪府立大学大学院)

— 映画シナリオの使用実態調査を基にして

15:55-16:20 Peer review texts に見られる 佐藤馨子 (横浜市立大学)

mitigation strategies

〔研究発表 4 : B会場 (小ホール)〕

司会：真田信治 (大阪大学)

14:00-14:25 「とか」表現の機能—文法化の側面から 砂川千穂 (日本女子大学大学院)

14:25-14:50 文末表出から見る—考察—神奈川県内の 橋本典尚 (東洋大学大学院)

高校生におけるコミュニケーション行動から

14:50-15:15 若者の言葉は曖昧か ローレンス 静 (ミシガン州立大学

— ヘッジの使用をめぐる

大学院)

15:15-15:30 休憩

15:30-15:55 若い女性の手紙文における感情と 片岡邦好 (愛知大学)

アイデンティティの表出について

15:55-16:20 関東と関西の敬語使用に見られる 荻野綱男 (東京都立大学),

地域差と年齢差

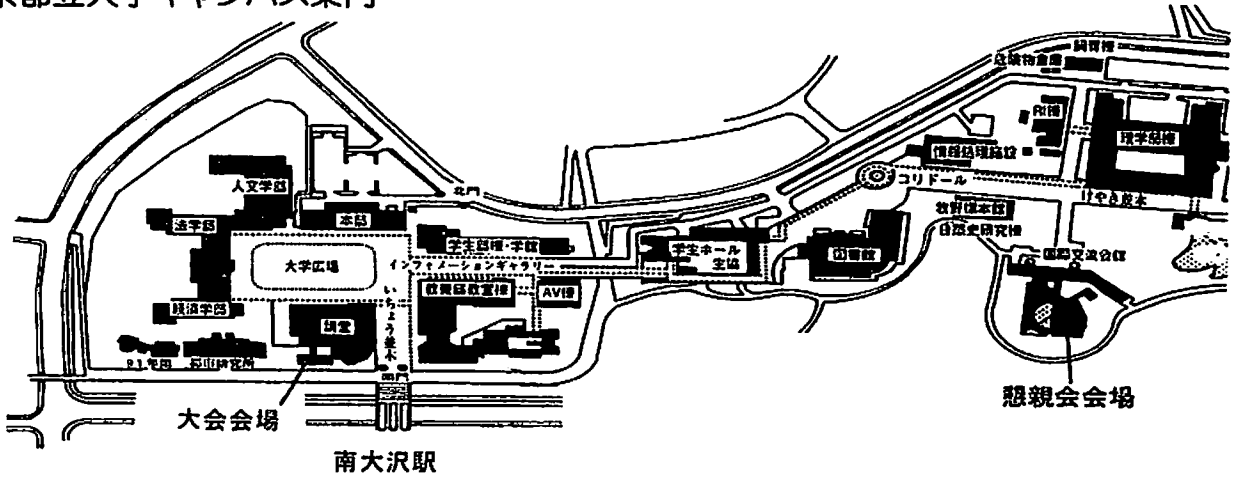
間淵洋子 (東京都立大学大学院)

16:20 閉会

手話通訳について

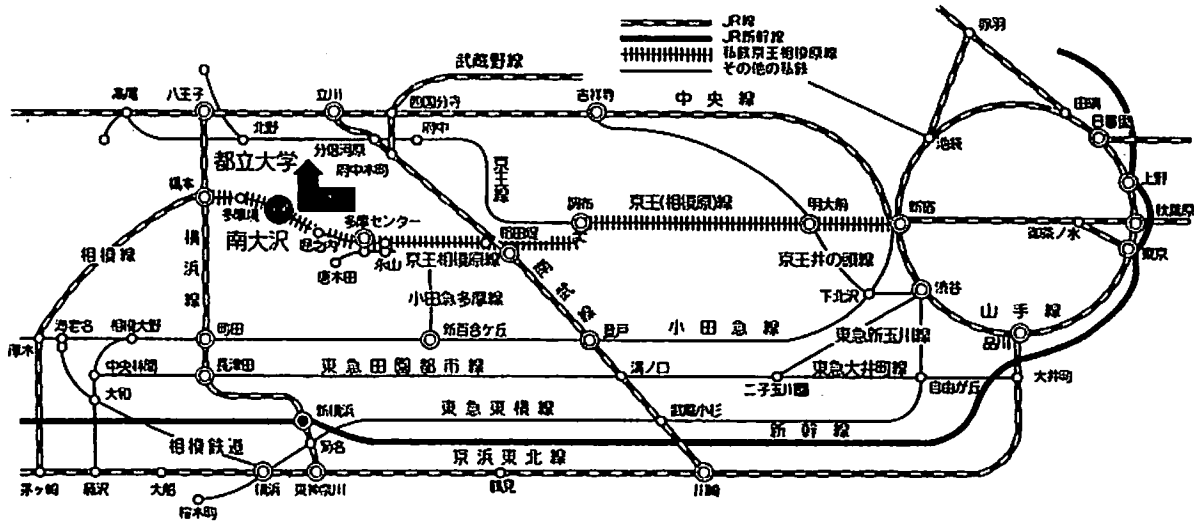
大会会場で手話通訳をご希望の方は、事前に学会事務局（専修大学永瀬研究室）までご連絡ください。学会規定により、費用の一部を補助いたします。

東京都立大学キャンパス案内



都立大（京王相模原線「南大沢」より徒歩5分）へのアクセス ()内は出発地からの所要時間

- 新宿駅より: 京王線の特急・急行・快速などに乗り、調布で京王相模原線の「橋本行き」に乗り換える(約50分)。
- 東京駅より: JR中央線(快速)で新宿へ、新宿で上記の京王線に乗り換える(約60分)。
- 横浜/川崎駅より: JR京浜東北線で東神奈川駅へ。JR横浜線に乗り換え橋本駅へ行き、橋本駅で京王相模原線に乗り換える(約50~60分)。
- 新横浜駅より: JR横浜線で橋本駅へ行き、京王相模原線に乗り換える(約40分)。
- 橋本駅より: 京王相模原線の「新宿行き」に乗車(約5分)。
- お願い: 駐車場はありませんので、車でのご参加はご遠慮ください。



宿泊案内

南大沢は、新宿から50分ほどかかるので、都区内に宿を取るとかなり大変です。「八王子」駅の周辺にも宿はありますが、南大沢に行くのはかなり不便です。

「多摩センター」駅および「橋本」駅周辺には次のようなホテルがあります。

最寄駅	ホテル	料金	電話番号	駅までの所要時間
多摩センター	サンピア多摩	約 6,800 円	042-376-8511	徒歩 10 分
	京王プラザホテル多摩	約 10,000 円	042-374-0111	徒歩 2 分
橋本	橋本シティホテル	約 6,700 円	042-774-8100	徒歩 5 分
	橋本パークホテル	約 6,300 円	042-774-6112	徒歩 10 分

第6回大会のお知らせ

ご予定に組み入れて、多数ご参加ください。

期日 2000年9月9日(土)～10日(日)

場所 中京大学 八事(やごと)校舎

所在 〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町 101-2

交通 地下鉄鶴舞線八事駅(名古屋駅から約 25 分)下車, 徒歩 2 分。

地図は以下のホームページをご覧ください。

<http://www.chukyo-u.ac.jp/office/general/Transport.html>

開催校・連絡先電話 0565-45-0971 内線 6659 (白井英俊研究室)

E-mail sirai@sccs.chukyo-u.ac.jp

研究発表の募集

上記の第6回大会の研究発表を以下の要領で募集します。

【発表資格】 申込の時点で社会言語科学会の会員であること (申込と同時に入会も可。連名発表の場合、少なくとも筆頭発表者、口頭発表者は本学会員でなければならない)。

【発表内容】 本学会の趣旨に沿った分野の内容で未発表のもの。

(社会言語学, 社会心理学, 社会学, 心理学, コミュニケーション論, 言語学, 言語人類学, 文化人類学, 語用論, 日本語教育, 英語教育, 情報科学, 認知科学, 人工知能研究, その他の分野で, ことばを社会や文化, 認知との関係でとらえた研究)

【発表時間】 原則として1件あたり25分(質疑応答も含む=予定)。

(ただし報告本数を考慮し, 時間調整を行う場合もある)

【応募要領】 (1)発表題目, (2)氏名, (3)住所, (4)連絡先電話番号/Fax 番号,

(5)E-mail アドレス (利用していない場合は不要), (6)所属, (7)職名,

(8)発表要旨 1,200 字程度

を記載したEメールを下記アドレスに送付してください。

なお, Eメールを原則としますが, 郵送でも受け付けます。その場合, 上記(1)~(8)の項目をなるべくA4用紙1枚に収めるようご記載ください。

※ 要旨の言語は日本語を原則としますが, 英語でも受け付けます。

【応募先】 jasstaik@kc4.so-net.ne.jp

〒192-0364 八王子市南大沢 5-6-3-602

社会言語科学会研究大会委員会

事務担当: 東 直子

電話番号: 0426-75-2036 (Fax 兼用)

【申込締切】 2000年5月25日(木)

【予稿集】 採否の結果は6月末までに応募者に連絡します。

発表者には, 発表に先だって予稿集用の原稿の執筆をお願いします(A4で6枚以内, 締め切り期限7月31日=予定)。

なお, 応募の採否, 発表順序などについては研究大会委員会にご一任願います。

※第5回大会では, 21件の発表応募があり, そのうち19件を採択させていただきました。

[巻頭言続き]

前の漢字の一部がコンピュータで扱えない場合がある。解決が望まれる大変身近な言語問題である。

最後の④は、使用される表現の対人的配慮の欠如に起因する言語の問題である。相手の言うことは理解できるがその言い方が気に入らない！ なんとかしてくれ！、というタイプの問題である。

これまでは主として①の研究が行なわれてきた。これからもこのタイプの研究は必要だろう。しかしその一方で、現在ではまだ主流とは言えない②以下の研究もまた重要である。「社会」という文脈の中での「言語」の使用を考える当学会としては、今後はこうした研究ももっとさかんになってよい。

(おざき よしみつ)

記録 夏のワークショップ'99

1999年8月23日～ 26日 中伊豆高原

昨年夏のワークショップは、「自然な」談話例を作るというテーマで行われ、4人の講師を含め二十数名が参加しました。講師の発題を受けて、参加者は4つのグループに分かれ、談話例作成の実習として、シナリオ作成、実演、録画を行いました。そして、最終日には、各グループが映像化した談話例について講評しあい、「自然な」談話例をめぐって議論を交わしました。



ビデオカメラの操作も習熟



映像を視聴し意見交換

お喜びとお知らせ

講習会 「社会調査法—データ収集法と統計的分析法」

上記の講習会について、会員の皆様にご案内してから短時日のうちに非常に多くの参加申し込みがあり、3月11日、12日とも早々に定員に達しました。多くの方々にお申し込みいただきながらご希望に添うことができなかったこと、お詫び申し上げます。

事業委員会では、できるだけ近い機会に同じような内容で講習会を開催することを予定しております。企画がかたまりましたら、ニューズレターや学会ホームページなどを通じて、改めてご案内を差し上げますので、その機会にはどうぞご参加ください。

ニューズレター担当: 学会事業委員会(E-mail: jassjigy@cf6.so-net.ne.jp)

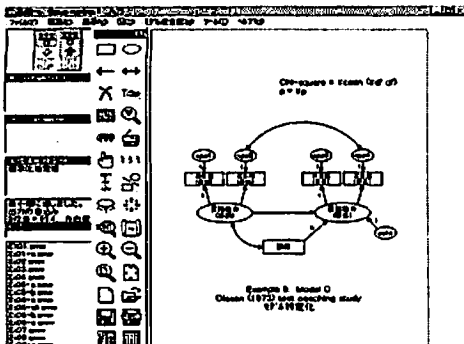
Amos だけが発見できる情報を、モデルとして構築します

SPSS introduces 構造方程式モデリングツール ベストセラー

大好評出荷中!!

AMOS 4.0 (日本語対応版)

～ 日本語表示可能、パワフルで使いやすい構造方程式モデリングツール ～



Amos を使えば、構造方程式モデリング(SEM) / 共分散構造分析を実行する過程において費やす労力と時間を節約できます。Amos を使えば、データ内の各変数間の関係を明確にするためのモデルを素早く作成します。

これほど素早く、容易に構造モデルを作成する機能をもちあわせたシステムは他にはありません。

その上、Amos は精度の高い推定をおこないます。新しい方針を導入、行動進路の選択、既存のプログラムがある規定に沿ったものかを確認する場合、Amos は理想的なソフトウェアです。

- Amos 4.0 は、変数名や図表のキャプションを日本語で設定可能！
- グラフィックインターフェイスがますますパワーアップ。マウス操作のみで簡単にパス図を作成。
- クリックするだけで異なったモデルのダイアグラム(図)を交互に表示。
- 母集団の同時分析や欠損値があるデータの分析も迅速、かつ正確に実行。

- SPSS データファイルは勿論、様々なファイル形式をサポートします。dBASE3,4,5/MS Excel3,4,5,8/Lotus Wk1,Wk3,Wk4/MS Access/FoxPro2.0,2.5,2.6/SPSS7.5,8.0,9.0,10.0/テキスト のファイルに対応



エス・ピー・エス・エス株式会社
〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-1-39 恵比寿プライムスクエアタワー 10F
Tel:03-5466-5511(代) Fax:03-5466-5621 e-mail:sales@spss.co.jp
URL <http://www.spss.co.jp>

Amos4.0 ホームページ >>> <http://www.spss.co.jp/product/amos40.htm>